

平成 22 年度第 3 回水と緑の森づくり会議意見要旨

事項	主な意見要旨	県の考え方など
世論調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般県民は、木材生産、環境保全などの機能を発揮させるよう、長期的に森林がうまく回るように水森税を使ってもらいたいと考えている。一方の森林所有者は、目の前の林業問題を解決してほしいという意識が強い</li> </ul>	
平成 22 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みーもの森づくり事業では、お茶代などボランティアの参画意欲を高める内容にしてもらいたいまた、有償ボランティアがあってもいい</li> <li>・ 水森税を環境関連事業で使えないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業採択基準を見直す方向で検討をしている</li> <li>・ 水森税は、荒廃森林を再生させ水を育む緑豊かな森林を次世代に引き継ぐため徴収している。荒廃森林の再生を最優先で行っている</li> </ul>

意見交換に係る内容は、会議資料を参照のこと